

地域	目標を達成するために行う事業		関係者	事業内容	実施計画（年度）※									H22 までの 評価	H22までの市の進捗状況
					短期			中期				長期			
					21	22	23	24	25	26	27	28～			
中心部	バス路線再編	幹線(運行頻度が高く利用者の多い路線)については、少系統多頻度運行により利便性向上を図るとともに、支線については、収支状況、利用状況に応じて系統数、運行頻度を見直すことによる効率化	県・市	赤字バス路線維持に向けた支援制度の充実										実施中	引き続き県との協調補助により生活交通バス路線網の維持に対し支援する。
		バス事業者の使用する土地・建物の減額貸付	市	バス事業者が事業用として使用する市有財産(旧交通局用地・建物等)の貸付料について、平成20年度から3年間にわたり貸付料を2分の1に減額										終了	3年間減額貸付け実施済み。
	バス走行環境の向上	TDM施策等の渋滞緩和策の導入や冬期走行性向上	国・県・市・市民	時差出勤、ノーマイカーデーの拡充等										実施中	平成22年度より継続実施中。
	バス運行情報提供の充実	バス路線・系統の記号や番号統一化によるわかりやすいバス路線・系統表示	市	設備導入費用の支援制度の導入										実施予定	平成22年5月に実証実験を行い、アンケート調査結果から、わかりやすいバス路線系統表示を試作、バス事業者に情報提供。平成23年10月全市一斉に実施予定。
	バス利用環境の改善	バス停へ上屋およびベンチの整備等	市	施設整備費用の支援制度の拡充、交通バリアフリー特定事業計画に位置づけられた各事業の推進										未着手	
		市内バス・公共交通で利用可能なＩＣカードの導入検討	市	ＩＣカード導入費用の支援制度の導入検討										実施予定	平成23年度にＩＣカード導入の費用対効果を他都市の事例調査から検討し、秋田市における有益性の検討基礎資料を作成予定。
	利用しやすいバス運賃の検討	地元関係者からの利用者確保を前提とした提案を受けた試験的な料金の値下げ(トリガー方式)	市	市民・地元関係者とバス事業者との協定締結を仲介										未着手	
		バスのゾーン制料金等の導入によるバス運賃支払いの単純化	市	ゾーン制料金導入の支援(実証実験への補助等)										未着手	
	鉄道の利便性向上	泉・外旭川地区への新駅設置と鉄道用地を活用したパークアンドライドの導入検討	鉄道事業者・市	泉・外旭川地区への新駅設置と鉄道用地を活用したパークアンドライドの導入検討										検討中	必要性を含めて現在検討中。
郊外部（1／2）	代替交通の導入	住民組織や地元関係者(企業等)が参画した組織による代替交通の導入、運営準備	市	研究会の設立、運営を支援										実施済み	西部、北部、南部、東部地域において、研究会を設立し、経路やダイヤを検討し、代替交通を運行。運行後は、協議会を設立し、利便性向上に向けた協議を行っており、市は、設立や運営を支援。今後も、引き続き支援していく。
			市	運行協議会の設立、運営を支援											
			市	グループインタビュー等による市民・地元関係者のニーズの把握とこれを反映した代替交通の検討を支援											
		住民組織や地元関係者(企業等)が参画した市民団体やNPO法人等の組織を設立して代替交通を運営し、運行事業者に運行委託	市	運営に関する支援制度の創設										未着手	
			市	運行事業者、関係機関との仲介											
		代替交通の運行	市	代替交通の費用負担										実施中	移動手段の確保のため今後も引き続き実施予定。
		バス事業者の使用する行政財産使用料の減免	市	バス事業者が使用する行政財産使用料を減免 対象：雄和市民センター内のバス専用レーン・バス乗り継ぎ敷地等										実施中	今後も引き続き実施予定。
		中心部のバス路線や鉄道へのスムーズな乗り継ぎの確保	市	中心部のバス路線や鉄道と郊外部の代替交通の乗り継ぎ拠点整備										実施予定	平成23年7月に乗り継ぎ拠点の見直しを図る予定。

※ 検討 実証実験・効果検証 本格導入(実証実験で効果が検証できた場合) 本格実施

地域	目標を達成するために行う事業		関係者	事業内容	実施計画（年度）※								H22 までの 評価	H22までの市の進捗状況		
					短期			中期				長期				
					21	22	23	24	25	26	27	28～				
郊外部 （2／2）	バス運行情報提供の充実	わかりやすいバスマップ作成および配布、幹線バスのバス停での掲示	市・市民	継続的なバスマップの作成・配布										未着手	平成23年度にＩＣカード導入の費用対効果を他都市の事例調査から検討し、秋田市における有益性の検討基礎資料を作成予定。	
	バス利用環境の改善	市内バス・公共交通で利用可能なＩＣカードの導入検討	市	ＩＣカード導入費用の支援制度の検討										実施予定		
	利用しやすいバス運賃の検討	地元関係者からの利用者確保を前提とした提案を受けた試験的な料金の値下げ（トリガー方式）	市	市民・地元関係者とバス事業者との協定締結を仲介											未着手	
交通空白域	必要に応じて市民・地元関係者が参画した組織を設立し、自ら生活交通の導入の検討	住民組織や地元関係者（企業等）が参画した市民団体やNPO法人等の組織を設立して代替交通を運営し、交通事業者に運行委託もしくは住民ボランティアが運行	市	運営組織設立・運営を支援										未着手		
			市	導入への補助制度の創設									未着手			
			市	運行事業者の仲介									未着手			
			地元関係者からの利用者確保を前提とした提案を受けた試験的な料金の値下げ（トリガー方式）	市	市民・地元関係者とバス事業者との協定締結を仲介										未着手	
全地域	利用しやすいバス運賃の検討	高齢者バス優遇乗車助成事業	市	高齢者が増加している現状を踏まえ、高齢者の社会参加の促進助成事業や生きがいづくりを支援するため実施している高齢者バス優遇乗車助成事業の実施方法や助成内容について検討										実施予定	現在のゆうゆう券（600円の負担で1,000円の回数券）を1乗車100円に変え、利用者の促進を図る。平成23年10月1日実施予定。	
		障害者バス運賃助成事業	市	障害者の交通手段等の実態や将来的な変化に対応した「福祉特事業別乗車証」の交付をすることにより、継続して通院等の交通費軽減や積極的な社会参加を図る											実施中	今後も引き続き実施予定。
	バス利用環境の改善	児童福祉施設整備推進事業（保育所バス更新経費）	市	新市建設計画により予定している河辺および雄和地域保育所の老朽化が著しい通園バスを年次計画により更新											実施済み	平成21年度で完了済み。
	公共交通利用の促進	秋田市役所における公共交通機関や自転車等の通勤によるCO2削減	市	市役所職員が自動車でなく、公共交通機関や自転車等による通勤を実施											実施中	毎月第3週をエコ通勤ウィークに設定し、公共交通や自転車通勤を推奨。今後も引き続き実施予定。
	代替交通の導入	既存のスクールバスや福祉バス、病院送迎バス等の公共交通としての利活用の検討	市	既存のスクールバスや福祉バス、病院送迎バス等の公共交通としての利活用の検討											一部検討中	平成21年度にスクールバスの利活用を検討。スクールバスの他校への貸し出し制度を新設することから、この結果に基づき再度検討することとした。

※ 検討 実証実験・効果検証 本格導入（実証実験で効果が検証できた場合） 本格実施